

1. 災害を事例とした6つの項目から見た主な課題

- ①学習・教育
 - ▶ 子どもの学びが、家庭や大人に浸透するような、機会の創出
 - ▶ 地域住民の顔が見え、自発的に参加したいと思える環境づくり
- ②情報共有・情報リテラシー
 - ▶ 情報弱者への配慮や情報モラルの教育
 - ▶ SNS等の活用により情報発信力が高い若年層の地域活動への取り込み
- ③地域コミュニティ/連携・協働
 - ▶ 生活スタイルの変化に対応したコミュニティの形成や、これまで活用されてこなかった、新たなコミュニティの有効活用
 - ▶ 行政や町内会だけでなく、民間や学校、NPO法人等と連携した学習環境の充実
- ④リーダー・担い手
 - ▶ リーダーを新たに育てるのではなく、既に地域で活動しており、地域を知っているリーダーを活用
 - ▶ 要となる人が情報共有を図れるよう、さまざまな分野の人材によるネットワーク構築
- ⑤防災活動・被災時の活動
 - ▶ 学びの意識を他人ごとではなく、自分ごととして捉える
 - ▶ 地域全体で被災時から個々人の防災意識を高められるよう、大人に対する防災教育の機会提供
- ⑥多様性と社会的包摂
 - ▶ 地域を知るうえで、要配慮者（高齢者、子ども、外国人等）への理解や気づきの視点を取り入れる。
 - ▶ 年代や考え方、思想等、違う側面を持つ人材が、お互いの立場を理解し合い、共有できるきっかけづくり

2. 社会教育における3つの柱

I 人づくり
主な課題
<ul style="list-style-type: none"> ▶ ⑤<u>学びの意識を他人ごとではなく、自分ごととして捉える</u> ▶ ⑤<u>地域全体で平常時から個々人の防災意識を高められるよう、大人に対する防災教育の機会提供</u>
<ul style="list-style-type: none"> ▶ ②<u>情報弱者への配慮や情報モラルの教育</u> ▶ ⑥<u>地域を知るうえで、要配慮者（高齢者、子ども、外国人等）への理解や気づきの視点を取り入れる。</u>
II つながりづくり
主な課題
<ul style="list-style-type: none"> ▶ ①<u>子どもの学びが、家庭や大人に浸透するような、機会の創出</u>
<ul style="list-style-type: none"> ▶ ④<u>リーダーを新たに育てるのではなく、既に地域で活動しており、地域を知っているリーダーを活用</u> ▶ ④<u>要となる人が情報共有を図れるよう、地域におけるさまざまな分野の人材による、ネットワーク構築</u> ▶ ⑥<u>年代や考え方、思想等、違う側面を持つ人材が、お互いの立場を理解し合い、共有できるきっかけづくり</u>
III 地域づくり
主な課題
<ul style="list-style-type: none"> ▶ ①<u>地域住民の顔が見え、自発的に参加したいと思える環境づくり</u> ▶ ②<u>SNS等の活用により情報発信力が高い若年層の地域活動への取り込み</u> ▶ ③<u>生活スタイルの変化に対応したコミュニティの形成や、これまで活用されてこなかった新たなコミュニティの有効活用</u> ▶ ③<u>行政や町内会だけでなく、民間や学校、NPO法人等との連携と連携した学習環境の充実</u>

3. 3つの柱から見たキーワード

■ キーワード：提言を行ううえで大切な視点

■ 人づくり	【自分ごととして捉える個の意識づくり】
■ 人づくり	【孤立を生み出さない学び】
■ つながりづくり	【大人と子どもが繋がる学び】
■ つながりづくり	【多様な人材のネットワーク構築】
■ 地域づくり	【身近な学習環境の充実】
■ 地域づくり	【民間等の今ある資源の有効活用】

第7回社会教育委員会議

・上記のキーワードを踏まえて、課題や、課題解決に向けた方策等を協議する